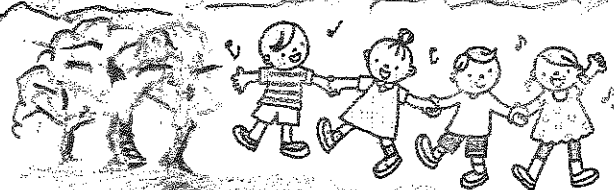
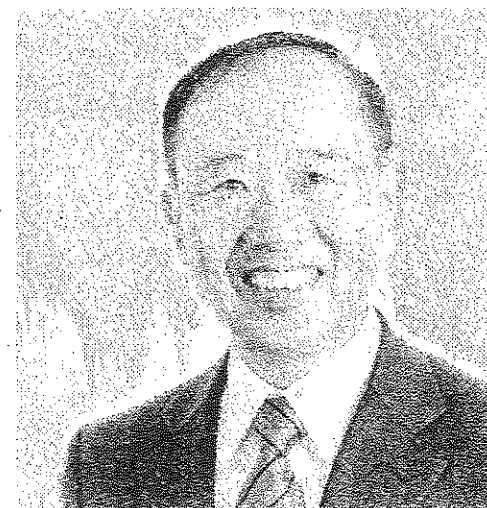


この12年間、皆さんの声や

願いを実現するために取り組んできました



出浦正夫町議は毎議会で質問、48回になりました。質問結果は「おがの民報」で議会報告。取り組んだ主な内容をまとめてみました。小鹿野町は、極端な出生減、若者の町外流出、農林業の後継者問題等深刻な問題を抱えています。これからもみなさんの声を町政に届け、住んでいて良かったと思える小鹿野町を目指します。

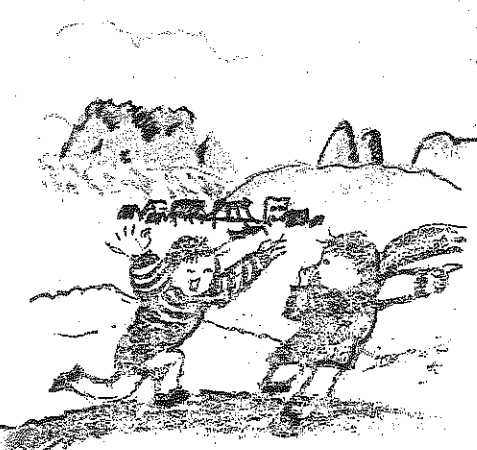


小鹿野町議会議員

働く人、子どもとお年寄りを大切にする

出浦正夫

- 1947年旧両神村生まれ
- 県立秩父高校・埼玉大学教育学部卒業
- 小学校教諭・農家
- 両神小森地区テレビ元組合長



事業で過疎債を用いて難視聴解消を！

豪雪被害(98cm~120cm)

- 2014年2月14日、15日
- ほとんどの農業用ハウス
- 倒壊の大被害、キュウリ、トマト、イチゴ農家などの被害甚大。
- 出浦議員すぐに被害調査、県、国に要請して、9割の助成実現。
- ほとんどの農家はハウス再建。

学校教育

- * 小・中学校の給食完全無償化実現
- * 教材費のほぼ無償化実現
- * 今後は、入学時の保護者負担軽減、憲法26条に規定される義務教育費の無償化に力を注ぎます。
- * 通学バスの利便性向上実現

土砂災害から

町民を守る

- * 長留残土埋め立て地大崩落、農地、家屋に甚大な被害、県環境管理事務所と交渉
- * 薄、八日見線道路崩壊、県土整備事務所・県農林部と交渉
- * 薄、串脇山腹崩壊、県農林部と交渉
- * 小森、下山田下の農地流出、県土整備事務所と交渉、復旧実現

テレビ難視聴対策

- * 旧東電系テレビ共聴4組合(三山・河原沢地区、藤倉地区、上薄地区、小森地区)の難視聴対策
- 議会で質問、町の過疎計画に盛り込まれる。東電柱共架料助成実現
- * 国・NHKがやらないのなら町の

産業振興

- * 両神農林産物直売所の改修、売り場面積拡大実現
- * 新型コロナウイルスの影響で売り上げが減少した農家に対する国の助成金申請に尽力

健康を守る

- * 人間ドッグ助成金プラス5000円実現
- * 子ども医療費18歳まで無料化
- * 加齢性難聴者への補聴器購入補助実現
- * 带状疱疹ワクチン接種、半額助成実現
- * 国民健康保険税値上げストップ
- * 子どもの均等割り賦課免除
- * 紙の保険証を残せ

命の水を守れ

- * 広域化反対・小鹿野浄水場を残せ「水道問題を考える会」とともに署名運動に参加、
- * 「小鹿野浄水場の存続を求める決議」可決
- * 広域議会議員の時には工事の問題点を指摘、料金値上げに反対
- * 来年度からの36.1%の料金値上げストップを要求

平和を守る

- * 被爆アオギリ2世移植
- 非核平和都市宣言の町
- モニタメント設置
- * 戦争法廃止を求める意見書案提案可決
- * 伊豆沢爆撃の記録調査を



出浦正夫議員の

9月議会報告

9月定例議会が9月9日から12日の日程で開催されました。議会では一般質問を8名が通告、7名が質問しました。

日本共産党の出浦正夫議員は11日に質問しました。

一般質問内容の概要を報告いたします。

一般質問要約



1. 水道料金値上げストップ

水道料金的大幅値上げが計画されています。広域水道審議会が昨年12月に答申した5.1%の値上げ案。出浦議員は本年3月議会でも値上げストップを要求。

その後、広域理事会（1市4町の首長で構成）は、値上げ幅を3.6. 1%にし、広域議会11月定例会に提案するとしています。

3.6. 1%の値上げをするとうるるか質問しました。

現行水道料金

値上げ後料金

基本料金1960円↓3140円

*1180円の値上げ、負担増

口径13ミリ管で20立方メートル使用の場合の料金

3360円↓4740円

*1380円の値上げ、負担増

(消費税抜きの料金)

この値上げが行われると、埼玉県内55水道事業体の中で最も高い水道料金となります。

物価高騰のなか値上げなどとてもない話です。水道料金値上げストップが町民の願いです。

出浦議員は、つづいて地域集会所の水道料金が集会所運営を圧迫していることから、基本料金だけでも町負担にできないか質問しました。

町長は「地域の負担でお願いしたい」と答弁。出浦議員は、集会所設置には多様な形態があるので実態調査を求めました。

町長は「実態調査については、行いたい」と答弁しました。

2. 義務教育無償化を

さらに、日本一の教育支援

を目指そう

小鹿野町の子育て、教育支援は給食費の完全無償化・教材費等のほぼ無償化に示されるように全国有数の水準です。

それでも父母・保護者の皆様は、小・中学校入学準備時や楽器、習字セツト、美術、技術、家庭科教材等多額の負担を余儀なくされています。

出浦議員は、児童・生徒が急減している今こそ義務教育無償化を実現するべきだと求めました

教育長はかねてより「義務教育無償化は大事な考え」と表明していますが、現在実施している補助等の継続を最優先に考え、保護者の経済的負担軽減を実施するとともに、教育環境のさらなる充実について総合的に検討していく旨答弁。

また、今年度より中学校修学旅行に對し生徒一人あたり30000円の補助を実施すると表明。父母・保護者の皆様にとり大きな負担軽減となります。画期的な前進です。

3. 「七五さんのつどい」

旧敬老会の形に戻し、全員

を招待、祝福を

旧敬老会が廃止され、75歳のみを招待する「七五さんのつどい」とされました。

出浦議員は、前の敬老会の形に戻し75歳以上全員を招待する必要があると質しました。

担当課では、コロナがあった、全員招待しても参加者は3割程度などの理由をあげ、75歳のみを招待する形にこだわりました。さらに、招待されない方も友だち、ご家族を誘って参加してもらいたい旨のはなしがありました。

高齢者の間では、招待もされないのに参加はできないとの声があります。

4. 寄贈された広徳寺所有の

山林ほかの整備・活用を

広徳寺所有の山林8. 7ヘクタールと建物に寄贈され7月25日、所有権移転登記が完了したとのことです。今後の整備、活用方針を質問しました。答弁では、現時点では整備・活用方針は決定していないとのことでした。

出浦議員は、隣地との境界確認、整備にはボランティアの協力を求める必要等の提案をしました。

5. 空き小・中学校の活用、地

域住民の合意と納得を得て活用を

町長は、この件に関して住民の皆様のご意見を十分に伺いながら進めてまいりたいと答弁しました。

出浦議員が、長若中学校校庭の宅地分譲計画はきっぱり中止を求めましたが、町長は、任期が10月29日までなので答弁はさしひかえると答弁しました。

6. バイオマス発電所、

ついに中止、撤退に

出浦議員のその後の動きはとの質問に対し、業者から9月5日に、発電所計画を中止し、提出してあった農地転用許可申請書も取り下げる旨の連絡があったとの答弁がありました。これで完全中止、撤退が確定しました。町民の声、町民の運動の力が中止に追い込んだといえます。

おがの民報

No. 58

日本共産党小鹿野町委員会
9月定例議会報告
2025年9月24日(水)
連絡先 (79) 0036